

2012年度 12月 例会プログラム

日 時・・・12月16日(日) 17:00～
 会 場・・・熱海後楽園ホテル
 受 付・・・第1部:越村修君・安田克己君
 第2部:親睦委員会
 司 会・・・津田博之君

第1部
 1.点鐘 会 長 田中 秀宝君
 1.聖句朗読・開会の祈り 内藤 一郎君
 1.国歌斉唱・ワイズソング 全 員
 1.ワイズの信条 西村 智仁君
 1.会長挨拶 会 長 田中 秀宝君
 1.ゲスト・ビジター紹介 会 長 田中 秀宝君
 1.書記報告 深澤 勇弘君
 1.委員会報告 各担当委員会
 1.入会式 担当委員会
 1.点鐘 田中 秀宝君

第2部
 1.キャンドルサービス 全 員
 1.賛美歌(109) 全 員
 1.来賓挨拶
 1.食前の祈り 小林 秀樹君
 1.乾杯・会食 直前会長 池田 直文君
 1.誕生日・結婚記念日の祝い 司 会 者
 1.各種表彰 担当委員会
 1.スマイル 親睦委員会
 1.家族紹介 司 会 者
 1.クリスマス賛美歌(312) 全 員
 1.サンタクロース入場 担当委員会
 演奏:伊東シティウインドオーケストラ
 1.ゲーム・余興 担当委員会
 1.福引き抽選 担当委員会
 1.出席・スマイル・基金報告 担当委員会
 1.賛美歌『送別旅行』(405) 全 員
 1.閉会の言葉 B副会長 西部 慎介君

第6回 役員会報告

平成24年12月3日(金) 午後7時30分～ ワイズ事務所

司会:A副会長 札埜慶一

◎会長挨拶 田中秀宝

●報告事項

- 1. 12月予定の件……………報告
- 1. 会報委員会開催日の件……………報告
- 1. その他委員会開催日の件……………報告
- 1. アンケート集計報告の件……………報告
- 1. クリスマス家族会経過報告……………報告
- 1. 市民安全運動の参加の件(12月14日)……………報告

●議題 議長 田中秀宝

- 1. 12月プログラムの件……………承認
- 1. 新入会員承認の件……………承認
- 1. 親睦バス旅行決算報告の件……………承認
- 1. ドッジボール決算報告の件……………承認
- 1. 年賀はがきコンテストの件(予算・副賞等)……………承認
- 1. 赤い羽根募金(12月14日)……………承認
- 1. その他……………承認

◎閉会の辞 B副会長 西部慎介

*次回会合:1月9日(水)

YMCA 12月理事・運営委員会

2012年12月6日(休)
 於:YMCAセンター 18時30分～20時15分
 司会:鈴木道夫理事 記録:総務 森重男
 ◎開会あいさつ 竹内敏朗理事長

■第27回中学生英語スピーチコンテスト終了報告…森委員

■第4回チャリティランin御殿場
 報告と反省…長谷川実行委員長

■各クラブ年会費の助成について

伊東センター・沼津センターに対し、元の割合に戻し70%還元。

■キャンプ、ユースリーダー養成の件…同盟 島田総主事

■1月新年理事会の予定について

■その他

青木委員:熱海クラブ主催 第7回ドッジボール大会11月17日マリノホールにて。カレー昼食700食提供。

スキー教室 2月9・10日清里サンメドウズにて。

江馬、鈴木健委員:会員増強 維持会員へFニュース同封郵送。

長谷川委員:1月10日沼津・三島・御殿場3クラブ合同例会。

2月は移動例会・東京各所見学。

北村委員:12月まで例会、1月～6月役員会のみ。

土屋委員:下田市青少年育成事業に協賛、あいさつ運動を奨励。

久保田委員:ドッジボール大会参加600名。

井堀委員:Fニュース作成、維持会員へ11月30日郵送。

竹内理事長:チャリティラン・スピーチコン盛會に感謝。カナダカルガリーに第3の友情の家建設中。

島田同盟総主事:世界のYMCAの動向。

石川委員:1月22日富士・富士宮合同例会。パティオにて。

長谷川委員:副・理事長退任の件、1月に検討。

青木委員:来年度10月22日富士山部会。11月24日熱海クラブ50周年記念会。

*新年理事会:25年1月17日(木) YMCAセンター

12月は“ノンドロップ作戦”の再確認 EMC/C強調月間

12月はEMC-Cの強調月間になっています。ご承知の通り、EMCはクラブ拡張(新クラブ設立) [Extension]・会員増強 [Membership]・維持啓発 [Conservation] というワイズメンズ・クラブが存続発展するための基本条件を宣言する重要な活動であります。このうち“Conservation”は辞書の上では「維持」、「保存」などと訳されており、やや守りの姿勢が感じられるかも知れませんが、ワイズの世界では、全く違います。

“Conservation”は会員の啓発、クラブ活動の充実・活性化、会員間の親睦・信頼関係の強化という極めて積極的な意味をもっています。ノンドロップ(退会者ゼロ)はその結果に過ぎません。

それにつけても、この10年間ほどの東日本区における会員数推移を見ますと、ほとんどの年度で新規会員獲得数以上に退会者が出ています。つまり、ネットベースでは会員数の純減が続いています。皆さんが一所懸命に新入会員を増やしても、ザルから水がこぼれるように脱落者が出ています。この背景には、会員の高齢化など様々な問題があることは否定できません。それにも拘わらず今期もEMC事業委員会としましては、ノンドロップを重要目標として掲げました。東日本区の存続の鍵が、退会者削減にあると考えるからです。

どうか各クラブにおかれましては、クラブ活動の充実・活性化、会員相互の絆の強化を通して、ノンドロップを実現して下さいませようお願いします。ノンドロップを実現するための“クラブ・シンキング”も是非実施して下さい。最後に新入会員獲得に当たりましては、ワイズに相応しい奉仕精神の旺盛な方を勧誘したいものです。

会員増強事業主任 鈴木茂(横浜つづき)